

# 鶴城地区ワークショツプ 事業趣旨説明

令和8年1月18日  
会津若松市

# ◆ 地区別ワークショップについて

# 【地区別ワークショップについて】開催の趣旨

## ▶ 開催の趣旨

令和9年度からの10年間の市のまちづくりの指針となる新たな総合計画の策定にあたり、市民参画の取組として、地区単位で、特性や課題等を地域住民の方々と共有し、地区の将来のまちづくりや暮らしなどを考える「地区別ワークショップ」を市内3地区で開催しています。

ワークショップで出された意見等については、新たな総合計画の策定の参考にさせていただきます。

また、今回のワークショップを機に、自治基本条例に基づく「自主自立のまちづくり」に向け、地区の将来のあり方等について継続的に考えるきっかけとしていただきたいと考えています。

# 【地区別ワークショップについて】 対象地区

## ▶ 対象地区

地区	開催日時	会場
神指	令和7年12月21日（日） 14時～16時30分	中央公民館神指分館 会議室
門田	令和7年12月23日（火） 17時～19時30分	南公民館 1階会議室
鶴城	令和8年1月18日（日） 14時～16時30分	市役所本庁舎 3階会議室3-4・3-5

## ※市からの参加者

- ・ 企画調整課・・・総合計画 担当
- ・ 市民協働課・・・区長会、町内会、地域運営組織 担当
- ・ 株式会社NTTデータ経営研究所・・・ワークショップ司会・運営、ファシリテーション

# ◆ 総合計画とは

# 【総合計画とは】位置づけ・対象

## ▶ 位置づけ

総合計画は、地方自治体における行政運営の基本的な指針となる計画です。

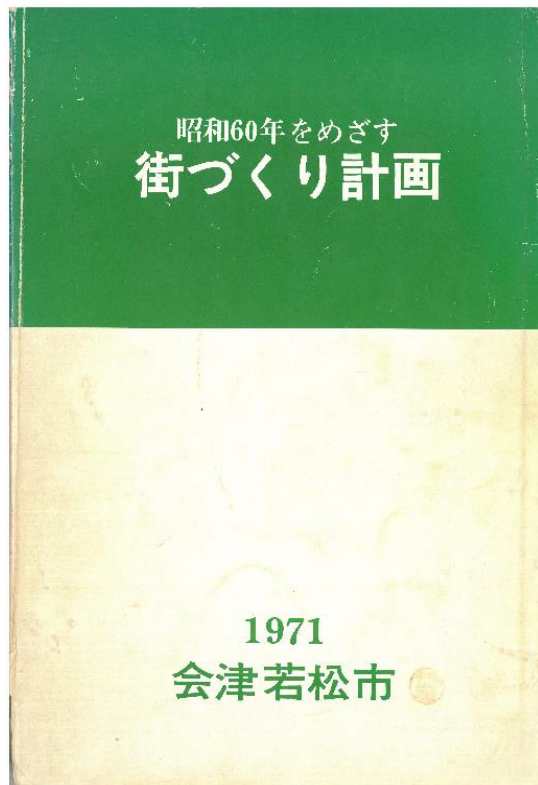
## ▶ 対象

総合計画は市政全般を対象としており、会津若松市の政策、施策及び事務事業は総合計画に基づくことを基本としています。

## ▶ これまでの総合計画

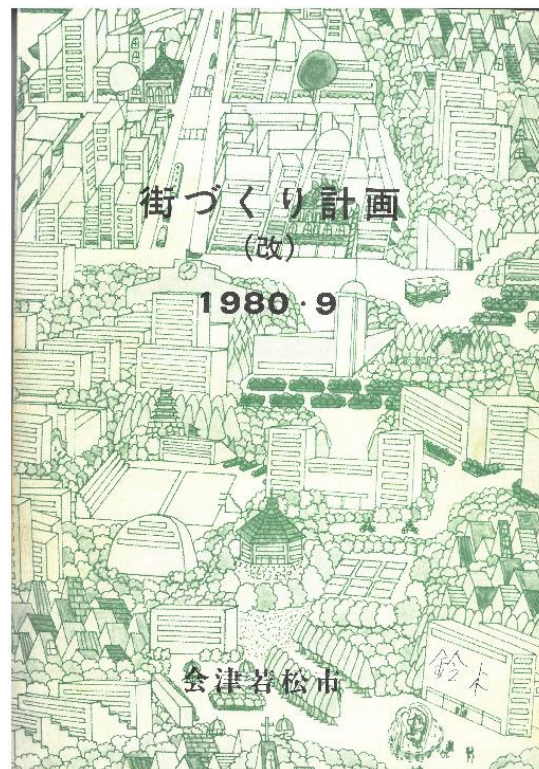
会津若松市では、昭和46年に最初の総合計画である「昭和60年を目指す街づくり計画」を策定しました。以降、おおよそ5～10年ごとに総合計画を策定してきました。現行の総合計画は、平成29年に策定した「第7次総合計画」です。

# これまでの総合計画（昭和46年度～平成7年度）



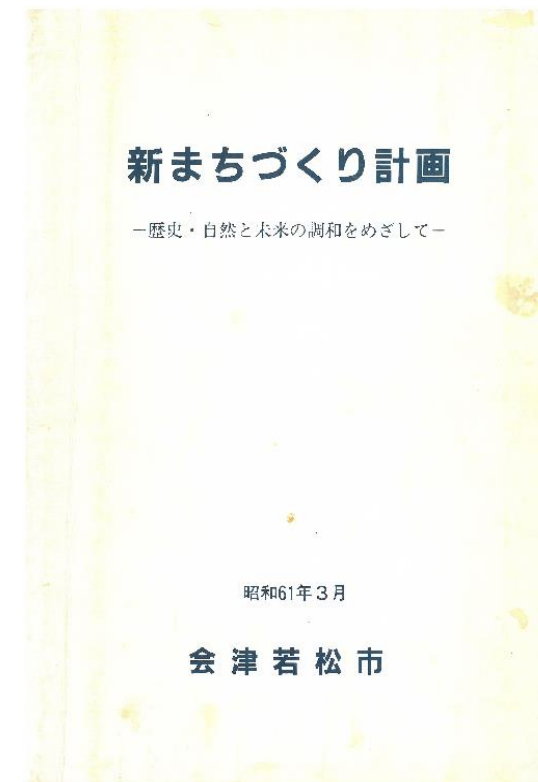
「昭和60年を目指す街づくり計画」（1971年）

基本目標「あかるく住みよい会津若松市」  
（計画期間：1971年度～1985年度）



「街づくり計画（改）」（1980年）

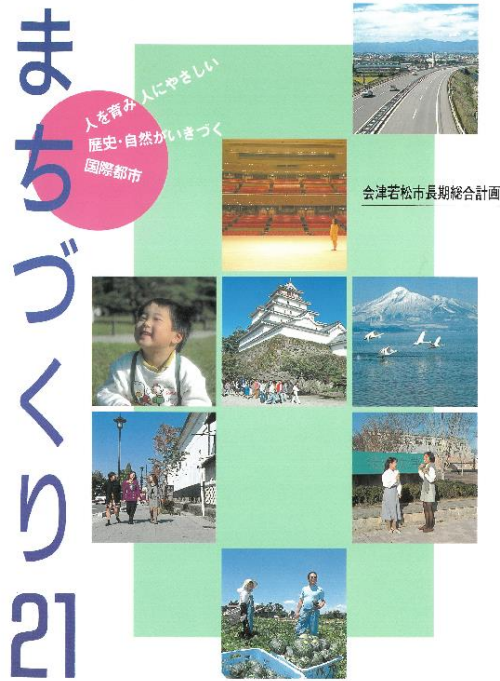
基本目標「明るく住みよい会津若松市」  
（計画期間：1980年度～1985年度）



「新まちづくり計画」（1986年）

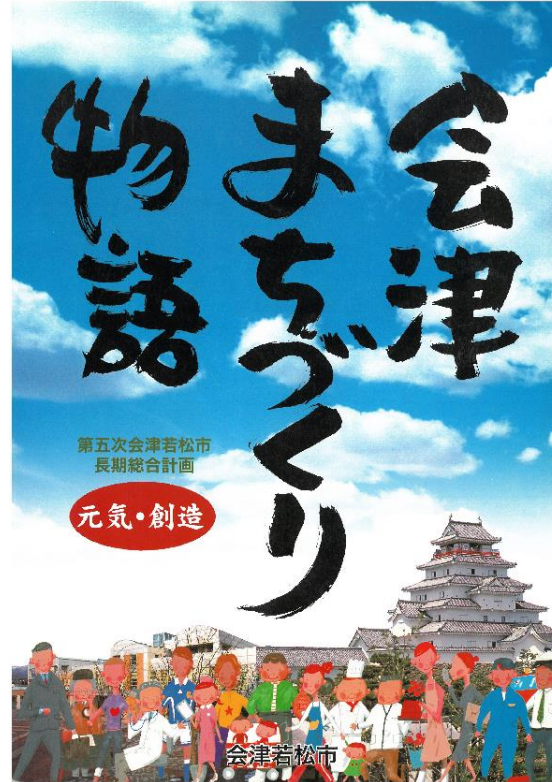
基本目標「歴史・自然と未来の調和」  
（計画期間：1986年度～1995年度）

# これまでの総合計画（平成6年度～平成28年度）



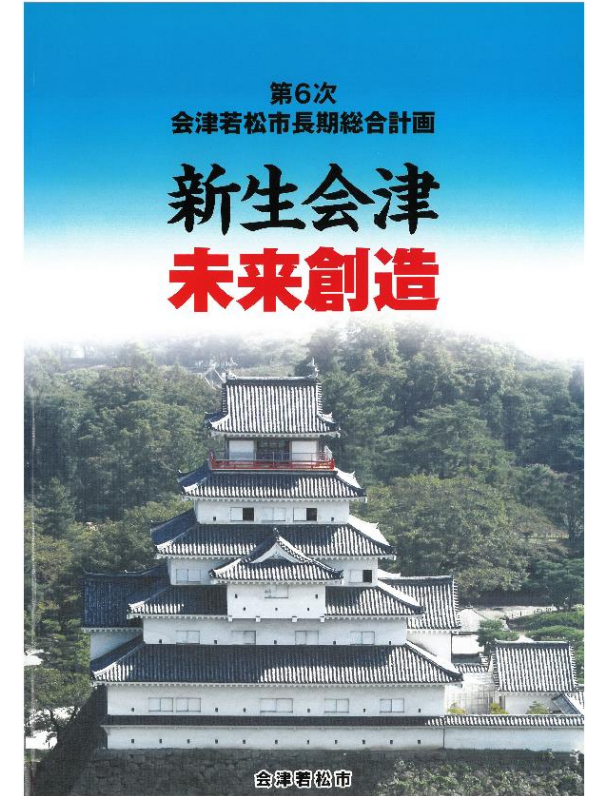
「会津若松市長期総合計画 まちづくり21」  
(1994年)

基本目標「人が育み 人にやさしい  
歴史・自然がいまづく国際都市」  
(計画期間：1994年度～2003年度)



「第5次会津若松市長期総合計画  
会津まちづくり物語」(2002年)

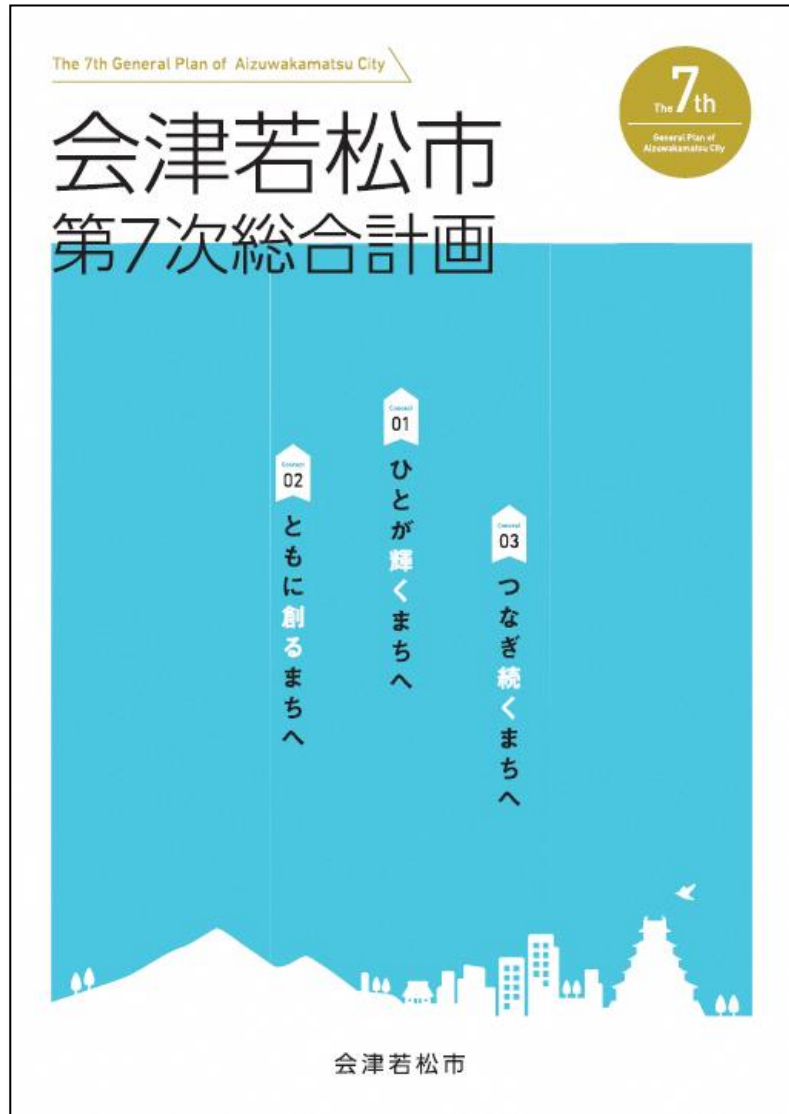
基本目標「会津ブランドをいかした  
元気なまちづくり」  
(計画期間：2002年度～2011年度)



「第6次会津若松市長期総合計画  
新生会津未来創造」(2007年)

基本目標「ともに育む 会津ブランド  
をいかした活力あるまち」  
(計画期間：2007年度～2016年度)

# 【第7次総合計画】基本理念・基本目標



## ▶ 基本理念・基本目標（まちづくりのビジョン）

ともに歩み、ともに創る「<sup>おん</sup>温<sup>こ</sup>故<sup>そう</sup>創しん」会津若松

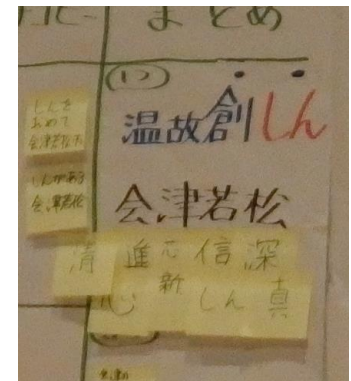
（意味）

「しん」は「新」、「心」、「信」、「真」、「進」、「清」、「伸」等を意味します。

市民参画と協働により、地域の資源を活かして、  
新しい会津若松市を創造



「温故創しん」というフレーズは、  
当時、市民の参画の取組として開催  
した「あいづ創生市民会議」での議  
論から生まれ、提案されました。



# 【第7次総合計画】政策目標・政策・政策分野

政策目標	政策	政策分野
1 未来につなぐひとづくり	1 次代を創る子どもたちの育成	1 子ども・子育て 2 学校教育 3 教育環境 4 地域による子ども育成
	2 生涯にわたる学びと活躍の推進	5 生涯学習 6 スポーツ 7 歴史・文化 8 男女共同参画 9 社会参画
2 強みを活かすしごとづくり	3 生活の基盤となる仕事の創出	10 食料・農業・農村 11 森林・林業 12 中小企業 13 企業立地・産業創出 14 雇用・労働環境
	4 地域の個性を活かした賑わいと魅力の創出	15 観光 16 中心市街地・商業地域
3 安心、共生の暮らしづくり	5 健やかで思いやりのある地域社会の形成	17 健康・医療 18 地域福祉 19 高齢者福祉 20 障がい者福祉 21 ユニバーサルデザイン
	6 人と豊かな自然との共生	22 低炭素・循環型社会 23 自然環境・生活環境 24 公園・緑地

4 安全、快適な基盤づくり	7 災害や危機への備えの強化	25 生活・安全 26 地域防災 27 治水 28 雪対策
	8 地域の活力を支える都市環境の維持	29 都市づくり 30 道路 31 公共交通 32 上下水道 33 住宅・住環境 34 景観 35 情報通信技術
5 豊かで魅力ある地域づくり	9 ひとの力を活かした地域活力の創造・再生	36 地域自治・コミュニティ 37 交流・移住 38 大学等との連携 39 まちの拠点
	10 社会の変化に対応した行財政運営	40 公共施設 41 行政運営 42 財政基盤

# ◆ 新たな総合計画について

# 【これまでの取組経過】 新たな総合計画策定方針（令和6年4月）

## ▶ 計画策定の視点

人口規模の変化に  
対応できる  
持続可能なまちづくり

市民協働により  
地域共生社会を  
実現するまちづくり

環境負荷の少ない  
まちづくり

郷土愛を育む  
まちづくり

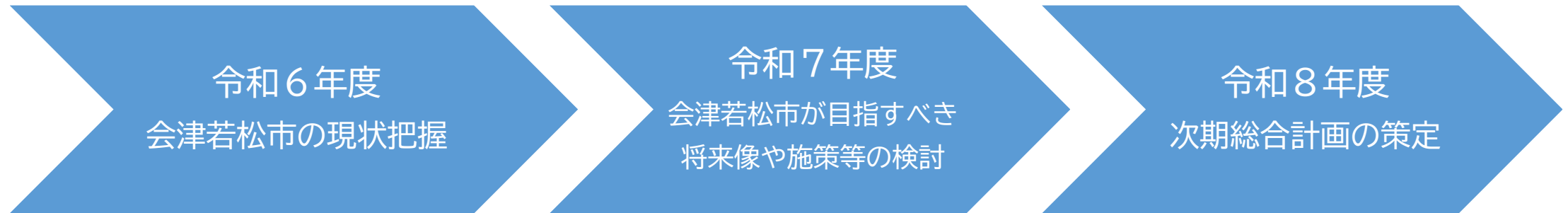
「スマートシティの取組」を市民のツールとして定着

## ▶ 計画期間

本市が長期的な展望のもとで目指すべき将来の姿を示しつつ、計画期間を令和9年度から令和18年度までの10年間とします。なお、計画の進捗等を踏まえ、中間評価を行います。

# 【これまでの取組経過】 新たな総合計画策定方針（令和6年4月）

## ▶ 策定スケジュール



- 「新たな総合計画策定方針」の策定
- キックオフ講演会・トークセッション
- 各種アンケート調査
- 「公共政策フォーラム」の開催
- わたしの「まちづくり提言」

- 新たな総合計画策定市民会議
- あいづわかまつ若者会議
- 子育て世代ワークショップ
- 地区別ワークショップ
- タウンミーティング
- 総合計画審議会
- 庁内での策定作業

- 総合計画審議会
- パブリックコメント
- 市議会へ議案提出
- タウンミーティング

令和7年度からは、株式会社NTTデータ経営研究所に、新たな総合計画策定市民会議をはじめとする各種ワークショップの運営など、計画策定にご協力いただいております

# 【これまでの取組経過】 令和6年度の主な取組

- ▶ 新たな総合計画の策定に向けたキックオフ講演会・トークセッションの開催（令和6年7月）

新たな総合計画の策定に着手するに当たり、本市の状況とこれからの地方都市が歩んでいくべき方向性などについて市民の皆様と考え、意識の共有を図ることを目的に開催しました。



日本総合研究所 主席研究員  
藻谷浩介氏による基調講演



トークセッション（五十嵐えり氏、石川達也氏、  
馬場由紀子氏、盛島芽生氏）

# 【これまでの取組経過】 令和6年度の主な取組

## ▶ 「公共政策フォーラム2024in会津若松」の開催（令和6年11月）

「外部の若者」視点からの意見等を聴取する機会として、地方都市における若者の定着をテーマに、日本公共政策学会とともに全国の大学生（12大学13チーム）による政策提言コンペを開催しました。



賞	論文名（受賞者）
日本公共政策学会賞 （最優秀賞）	Yori-Aizu～会津漆器から始まるクリエイティブ空間～（法政大学 廣瀬・土山ゼミナール）
会津若松市長賞	「Unity」で描く未来共創都市・会津若松（日本大学 中川雅之ゼミナール）
会津若松市議会議長賞	会津大学における地域内進学と地域内就職の増加（立命館大学 森道哉ゼミナール）
会津若松市教育長賞	ファイアキッズハウス事業による地域防災力の強化、若者の定住促進（関西大学 永田ゼミナール）
会津若松商工会議所会頭賞	あかべこ会津にあいばっせ～アプリでめぐる会津若松市～（愛知学院大学 小林ゼミナール）
会津青年会議所理事長賞	若者みんなでつくりだす～会津若松創生コンペによる継続的地域活性化施策～（専修大学 石川ゼミ）

# 【これまでの取組経過】 令和6年度の主な取組

## ▶ 各種アンケート調査の実施（令和6年11月～12月）

各種ワークショップ等における基礎資料として活用するため、市民や事業所、小中学生、市内在住外国人など多様な主体を対象とした各種アンケート調査を実施しました。

	市民意識調査	事業所アンケート調査	小・中学生まちづくりアンケート調査	市内在住外国人アンケート調査
調査対象	満18歳以上の市民4,000人	市内に本社・支社・営業所等を置く事業所1,500社	市内の小中学校及び義務教育学校に通学する小学5・6年生、中学1・2年生約3,800人	住民基本台帳に登載された満18歳以上の日本国籍を有しない方993人
抽出方法	無作為抽出	会津若松商工会議所及びあいづ商工会会員から無作為抽出	全数	全数
調査期間	令和6年11月28日～12月27日	令和6年11月28日～12月27日	令和6年11月28日～12月20日	令和6年11月28日～12月27日
調査方法	郵送法（郵送配付、回収はWEB併用）	郵送法（郵送配付、回収はWEB併用）	直接配付（学校を通じた配付、回収はWEB併用）	郵送法（郵送配付、回収はWEB併用）※やさしい日本語及び対象者の母国語による調査票を送付
回答率	37.8%（回答数1,512）	37.7%（回答数565）	約67.8%（回答数2,578）	18.9%（回答数188）

# 【これまでの取組経過】 令和6年度の主な取組

## ▶ 市民意識調査の結果から

市の施策に対する市民の認識について把握するため、「第7次総合計画」の各政策分野に関し、「施策への満足度」及び「今後の重要度」を調査しました。評価を点数化した上で、全体の平均値との比較により各政策分野を分類したところ、下表の右上の領域（網掛け）の政策分野は、重要度が高いものの、満足度が低いと、多くの市民が認識しているという結果となりました。

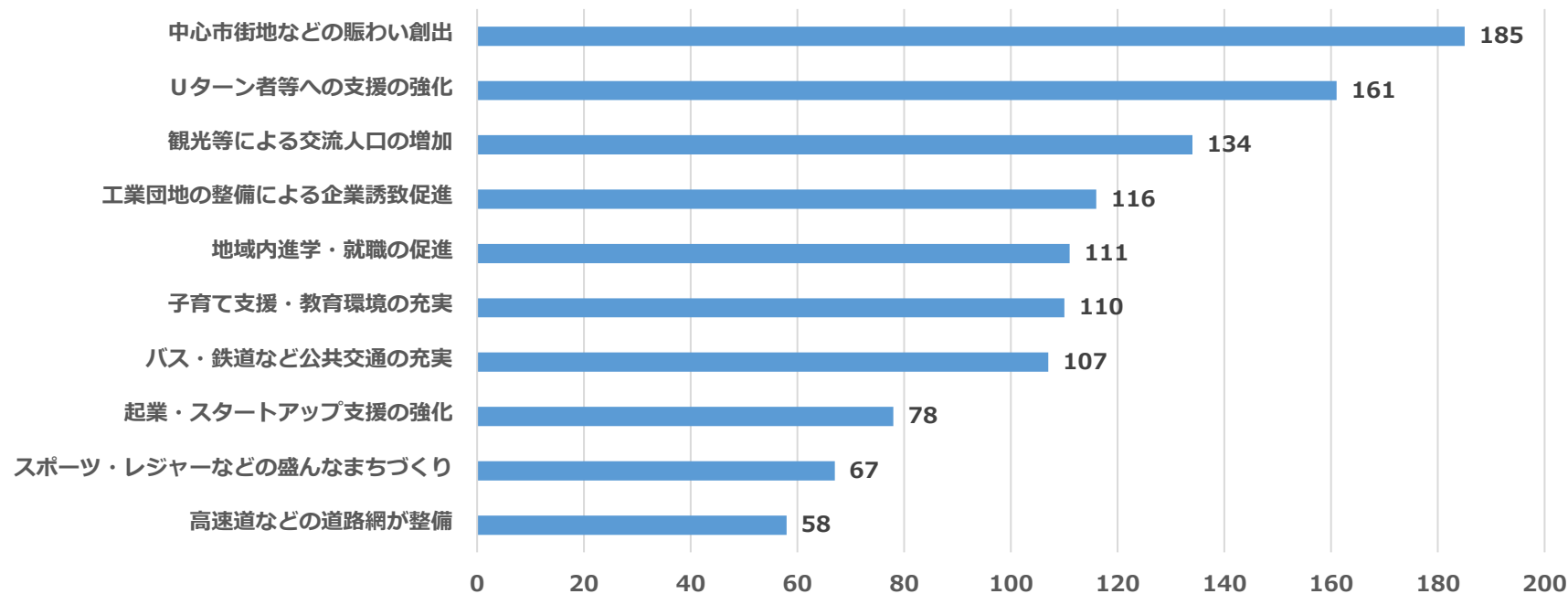
		施策への満足度	
		高	低
今後の重要度	高	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域による子ども育成</li> <li>○食料・農業・農村、中小企業、観光</li> <li>○健康・医療、高齢者福祉、障がい者福祉、低炭素・循環型社会</li> <li>○生活・安全、地域防災、治水、上下水道</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子ども・子育て、学校教育、教育環境</li> <li>○企業立地・産業創出、雇用・労働環境、中心市街地・商業地域</li> <li>○地域福祉、自然環境・生活環境</li> <li>○雪対策、公共交通、住宅・住環境</li> <li>○まちの拠点</li> </ul>
	低	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生涯学習、スポーツ、歴史・文化、社会参画</li> <li>○ユニバーサルデザイン、公園・緑地</li> <li>○景観</li> <li>○地域自治・コミュニティ、交流・移住、大学等との連携、行政運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○男女共同参画</li> <li>○森林・林業</li> <li>○都市づくり、道路、情報通信技術</li> <li>○公共施設、財政基盤</li> </ul>

※表中の高低は全体の平均値との比較

# 【これまでの取組経過】 令和6年度の主な取組

## ▶ 事業所アンケート調査の結果から

本市の経済成長に必要なまちづくり施策に対する事業所の認識について調査したところ、下記グラフのとおり、中心市街地の賑わい創出や交流人口の増加、企業誘致などの産業振興策だけでなく、Uターン支援や地域内進学・就職支援などの人材確保策、子育て支援や公共交通、スポーツ・レジャーなど、生活支援策など幅広い施策が必要であると認識している事業者が多いという結果となりました。

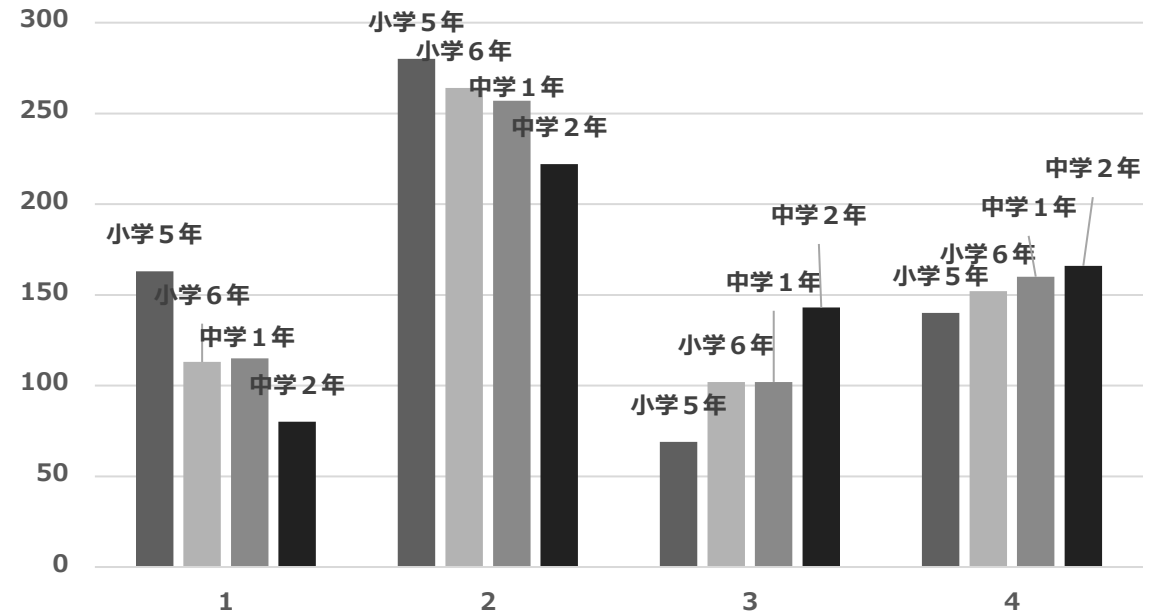
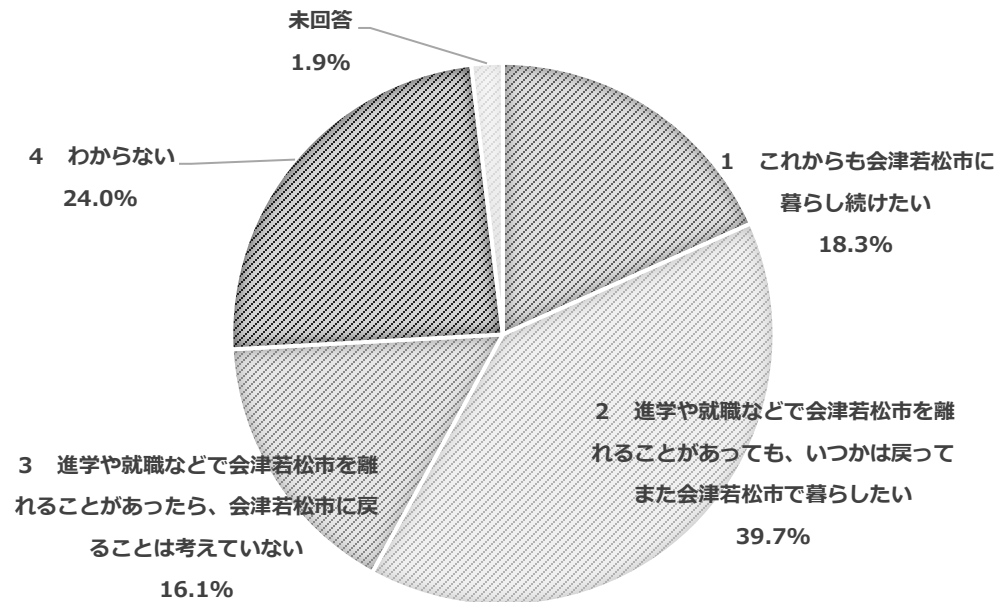


※回答が多い順  
に抜粋

# 【これまでの取組経過】 令和6年度の主な取組

## ▶ 小・中学生まちづくりアンケート調査の結果から

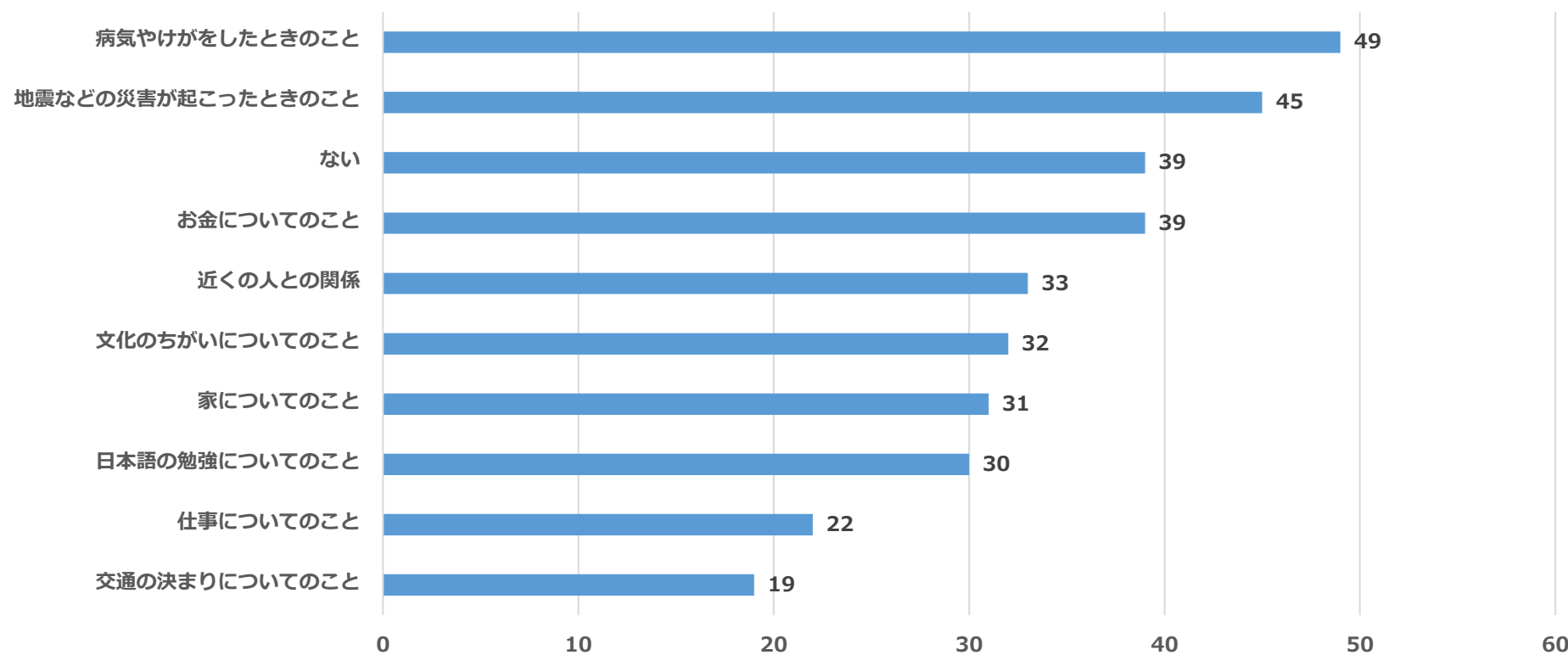
「これからも会津若松市に暮らし続けたいと思いますか」という居住意向に関しては、左の円グラフのように、全体で6割弱の小中学生が、Uターンも含め、会津若松市で暮らし続けたいと回答していますが、右の棒グラフのように、学年ごとに集計すると、学年が上がるごとに「暮らし続けたい」という回答数が減少し、「会津若松市に戻ることは考えていない」という回答数が増加していることが確認できます。



# 【これまでの取組経過】 令和6年度の主な取組

## ▶ 市内在住外国人アンケート調査の結果から

外国人の多くが、本市での生活の中で、病気やケガ、災害など、緊急時の対応について不安等を感じているという結果となりました。



※回答が多い順  
に抜粋

# 【これまでの取組経過】 令和7年度の主な取組

## ▶ 「新たな総合計画策定市民会議」の開催

長期的な展望のもとで、本市が目指すべき将来の姿などについて市民等から意見等を聴取するためのワークショップを開催しています（委員36名）。



回	月日	テーマ・内容等
1	7月9日	会議趣旨・全体スケジュール説明、委員紹介
2	7月30日	自身が知る会津若松の特性の共有
3	8月20日	ワールドカフェ方式による市職員との対話
4	10月1日	会津若松の魅力・問題点の検証
5	10月22日	会津若松の「目指すべき将来像」の検討
6	11月12日	会津若松の「目指すべき将来像」の実現に向けたアクションプランの検討
7	1月14日	今後10年間のまちづくり協働に向けたスローガン検討

# 【これまでの取組経過】 令和7年度の主な取組

## ▶ 「あいづわかまつ若者会議」の開催

本市が目指すべき将来の姿などをテーマに、高校生や大学生などを対象としたワークショップを開催しています（委員14名）。



	高校生	短大生	大学生	合計
委員	6名	2名	6名	14名

回	月日	テーマ・内容等
1	8月2日	会議趣旨・全体スケジュール説明、委員紹介
2	10月4日	若者と女性に選ばれるまちについて考えてみる
3	12月20日	若者と女性に選ばれるまち「会津若松」の実現に向けた取組を考える

# 【これまでの取組経過】 令和7年度の主な取組

## ▶ 「子育て世代ワークショップ」の開催

子どもから高齢者まで誰もが幸せに暮らしていけるまちを築き、次の世代に引き続いていくことを目指し、子育てしやすいまちなどをテーマにワークショップを開催しています（委員13名）。



回	月日	テーマ・内容等
1	8月3日	会議趣旨・全体スケジュール説明、委員紹介
2	10月4日	子育てフェーズ別の悩み、問題意識を把握する
3	1月17日	会津若松での子育ての充実に向けた取組を考える

